

北イタリア安全対策情報

2022年4月～6月

1 治安情勢

当地では、新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言が3月で終了したことに伴い、感染対策規制緩和による観光客の増加と共に、窃盗等の邦人の被害申告が増加しています。

治安当局によれば、主要な犯行グループは東欧人が多く、ミラノ中央駅等や地下鉄等で犯行対象を物色して、一人になったところを狙って犯行を取行するとのこと。

道を尋ね、相手がスマートフォンを確認してる隙に財布を窃取するといった手口が多いため、地下鉄やレストラン等の人の密集場所においては、注意を怠らないようにしましょう。

2 日本人被害例（件数は当館に届け出のあったもののみを計上）

- (1) 車上狙い 2件（参考：1月から3月は0件）
- (2) 置引き 3件（同：1件）
- (3) すり 5件（同：2件）
- (4) ひったくり 2件（同：0件）

3 殺人・強盗・誘拐等凶悪犯罪例

日本人以外の被害が発生した事件の一例は、以下のとおりです。

- (1) 5月上旬、ミラノ市センピオーネ公園付近で、男性（26歳）が美容院や洋服店に続けて押し入り、店員をナイフで脅して900ユーロを奪って逃走しましたが、その後警察に逮捕されました。
- (2) 6月上旬、ヴァレーゼ県で、イタリア人女性（57歳）が、イタリア人男性（62歳）を銃で殺害し、テラスから飛び降りて自殺しました。
- (3) 6月上旬、パビア県ガンボロで、イタリア人男性（85歳）が、イタリア人男性（45歳）と口論後、ライフルで殺害しました。
- (4) 6月中旬、ミラノ中央駅付近の被害者自宅前で、2人の男性が、ロシア人女性と一緒にいた男性（国籍不明）の顔面を殴り、顔に布を被せたうえ粘着テープで固定してから室内を物色し、現金4,000ユーロのほか貴金属等を奪って逃走しました。

4 テロ・爆弾事件発生状況

特になし。

5 対日感情の変化

特になし。

6 本企業の安全に関する諸問題

特になし。